



町の財産である水の大切さを子どもたちに知ってもらうため、毎年度学校を指定して水環境に関する学習に取り組んでいただいています。平成23年度は千屋小学校、千畑南小学校、千畑中学校をモデル校に指定し、水環境について学びました。

平成23年度 水環境学習モデル事業

子どもたちが美郷町の 水環境を考えました

千屋小学校

■主な学習内容

1・2年生	学校のまわり(ビオトープ)の生き物
3年生	六郷の清水めぐり
4年生	千屋の清水と環境
5年生	ビオトープでの活動や、イバラトミヨを中心とした水環境の学習活動
6年生	「つながる つなげる」※学習内容を名水サミットで発表

千屋小学校では、校庭内に設置したビオトープを「ドリームトープ」と名付けました。今年度秋に実施された改修工事により、ドリームトープ内に生息するイバラトミヨを横から観察できるようになりました。



■全国名水サミットでの発表内容(要旨) 6年生 「つながる つなげる」

ビオトープでの活動をしながら、多くの人とつながっていることを認識した。ボランティアや地域の方々から教えてもらった「水を大切にするには山を大切にする」「海を汚さないためには川に汚したものを流さない」ことは、「自然はつながっている」ということでもある。

ビオトープを守る活動をここで終わらせたくなくて、自分たちの考えをまとめて今の5年生に引き継ぎをした。自分たちができることは小さなことでも、人から人へ「してはいけないこと」「しなければならないこと」を伝えあっていくことが大切だと思う。

アンケートより抜粋 学習して、どんなことを発見しましたか？
また、どんなことを感じましたか？

- いろいろな人たちがきれいにしていたので、これからもきれいにしていってほしい。
- いろいろな風や水の音が聞こえてきて、自然を改めて感じた。
- ドリームトープを造った人は、色々な思いで造っていることがわかった。
- 水が汚いと生き物が暮らせないから、水は生き物に大切であることがわかった。

千畑南小学校

■主な学習内容

湧く湧く桜っ子清水探検

全校児童を18班に分けて六郷地区の5ヵ所の清水をめぐり、水質や名前の由来、水を守る取り組みなどさまざまなことを調査しました。

また、学年ごとにそれぞれの教科の授業の中で、地域や自然、環境などについて学習しました。

1・2年生	生活科	なかよしたんけん
3年生	社会科	わたしたちのまち・みんなのまち
4年生	社会科	くらしをささえる水
5年生	理科	流れる水のはたらき
6年生	理科	生き物のくらしとかんきょう

アンケートより抜粋

清水探検をして、どんなことを発見しましたか？また、どんなことを感じましたか？

- 水のきれいさを調べて、外にある水なのにとってもきれいだと思いました。10年たっても50年たってもこの清水が残っているといいなあ。
- 町の人も大切に使っていたので自分も大切にしたい。
- 美郷町にこんなにきれいなところがあって、自然とふれあえて楽しい。
- 汚さないようにしっかり使いたい。

■水の郷シンポジウムでの発表内容(要旨) 6年生 「湧く湧く桜っ子清水探検」

パックテスト(簡易水質分析器具)を利用して六郷地区5ヵ所の水の汚れ具合や清水で生きる水生生物などを調べ、美郷町の水が大変きれいな状態であることを改めて認識した。

清水はみんなの憩いの場でもあり、町の人、この美郷町になくってはならないもの。清水をきれいな状態に保つために、町の人たちがいろいろな取り組みをしていることもわかった。自分たちにも何かできることを考え、これからも清水を大切に守っていききたい。



千畑中学校

■主な学習内容

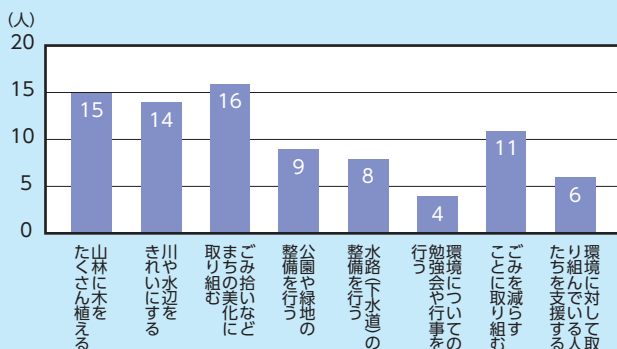
美郷の環境学習

総合的な学習の時間に、美郷町や水に関するさまざまな取り組みを実施しました

- ①美郷の環境アルバムコース／美郷町の水にかかわる風景を撮影し、写真にあった俳句を詠む
- ②美郷の環境動画コース／美郷町をアピールするためのコマーシャルを制作
- ③環境ものづくりコース／布きれを用いて草履を製作

アンケートより抜粋

美しい水のまちであるために必要だと思うことは何ですか？



■水の郷シンポジウムでの発表内容(要旨) 総合科学部「ホタルの生息地の環境調査 ～千畑地区若見子沢周辺のゲンジボタルについて～」

若見子沢の環境とそこに生息するゲンジボタルの特徴、見ごろなどについて調査を実施し、家庭や田んぼからの排水が混入しない、ホタルの生息に最適な環境であることを確認した。

ホタルは人が直接育てるものではなく、調和の取れた自然環境の中で育つものであると感じた。大切なのはこの環境をみんなで維持していくことで、そのために次のことを提案し、一緒に努力していきたい。

- ・ゴミを捨てないこと
- ・化学肥料や農薬をできるだけ使わない、循環型の稲作を継続すること
- ・観賞するときは、自動車を離れた場所へ駐車すること

